

第2期高知県産業振興計画 ver. 4（案）の主な改定内容

1 改定の柱と改定のポイント

これまでの取り組みの積み重ねにより、それぞれの分野を大きく動かす仕組みが整ってきているところでもあり、こうした状況を最大限生かして、①「地産」の取り組みの強化、②「外商」の取り組みの強化、そして、③この「地産外商」の成果を拡大再生産につなげていくための取り組みの強化、という3つの取り組みの強化を柱として、具体的に7つの改定のポイントとしてバージョンアップを図り、4年後の数値目標の達成はもとより、さらにその先の高い次元の新しいステージを目指す。

改定の柱	改定のポイント
【柱1】 「地産」の取り組みの強化	○新技術の導入による第一次産業のステージアップ！ ○本県の強みである紙産業のさらなる競争力強化！ ○産学官民連携によるイノベーションの創出！
【柱2】 「外商」の取り組みの強化	○外商活動の全国展開の強化や輸出振興の本格化！ ○400万人観光の定着と国際観光の抜本強化！
【柱3】 この「地産外商」の成果を拡大再生産につなげていくための取り組みの強化	○人財確保・事業承継の取組強化！ ○「地産外商」の成果をさらなる雇用の増加へ！

2 基本方向5の考え方の変更（再整理）

（1）変更（案）

基本方向 ⑤産業人材を育てる → 産業人材を育成・確保する

（2）考え方の再整理

近年、県内企業の休廃業の増加や、第一次産業の担い手の減少が深刻となる一方で、地産外商で成果を上げた事業者がさらなる拡大再生産を図るために、事業の中核となる新たな人材を必要とするケースが増えてきている。

こうした状況下においては、県内外の産業人材を積極的に確保していくことが一層重要となることから、第2期産業振興計画 Ver. 4では、基本方向の中で、明確に位置づけることとし、基本方向5を「産業人材を育成・確保する」として整理するもの。

※詳細な内容については、《参考1》第2期産業振興計画 ver. 4（総論）（案）、《参考2》第2期産業振興計画 ver. 4（産業成長戦略）（案）及び《参考3》第2期産業振興計画 ver. 4（地域アクションプラン）（案）を参照